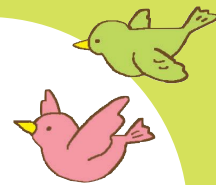


2

認知症かな？と思ったら



メリットが大きい早期対応を

認知症を根本的に治療することは難しいですが、認知症のタイプに合わせた治療やケアを適切に行うことで、進行を遅らせたり、症状を軽減することができます。そのため、早めに医療や介護のサービスを利用して、本人も家族も安心して生活できるようにしましょう。



医療機関受診のメリット

- 正確な診断のもとで本人に合った薬が処方されるため、認知症の進行を遅らせることができる。
- 担当医師と意思の疎通を図りながら時間をかけて信頼関係を構築することができる。

介護サービス利用のメリット

- 食事・運動・リハビリテーションなどにより、生活機能の維持が可能となり、認知症の進行を遅らせることが期待できる。
- 介護サービス利用中、家族は気分転換、休息時間に活用できるため、ゆとりを失わないで介護が続けられる。

医療機関を受診しましょう。

「認知症かな？」と思ったら、まずは『かかりつけ医』へ相談してください。かかりつけ医のみでは対応が難しい場合は、『専門医療機関』と連携します。なお、かかりつけ医がない場合は21ページ以降の『認知症に関する相談等ができる医療機関』を参考に受診してください。



気になることを事前にまとめておきましょう

医療機関を受診する場合には、診断のための検査の他に、ものわすれの状態などを質問されることがあります。日常生活の様子などを事前にまとめておくと診断の手助けになります。

本人の状態

- いつ頃から、どんな状態が、どんなふうに見えたか
- これまでかかった病気や現在かかっている病気
- 飲んでいるお薬



家族から本人をみて

- 日常生活の様子
- 生活する上で困っていること
- 性格や習慣の変化など

本人が病院に行きたがらない場合の対応ポイントが9ページにあります。参考にしてください。

お薬で困ったことがあったら？

下記のような困りごとを相談できる「かかりつけ薬剤師」を決めておきましょう。

- 薬の飲み忘れ ● 薬の管理 ● 薬の飲み合わせ
- 副作用の不安 ● 自宅に残っている薬のこと など

病院や歯医者、薬局に行くときは、一冊にまとめたお薬手帳を持っていきましょう。

